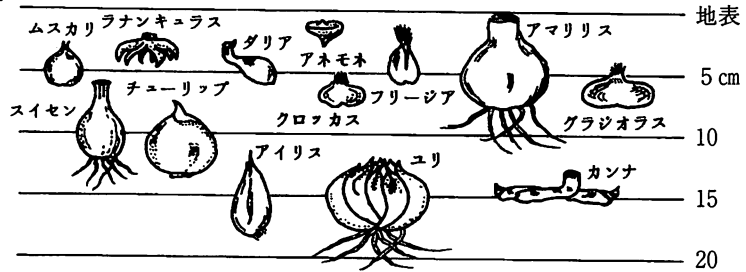


球根の育て方 1

露地植え

植え付ける深さ



球根の植え付け

場所

一日中よく日が当たる排水のよいところ。土質は選ばないが、やや粘質で重く肥えた土が適しています。排水がよくないところは、堆肥や腐葉土を混ぜ通気をよくします。

元肥

堆肥（5～10ℓ/㎡）と鶏フンや油カス（2～3ℓ/㎡）を植え付け予定地に入れ、その上に20～30cm土をかぶせます。また、遅効性粒状化成肥料をばらまき、耕しておいてもよろしい。

追肥

①芽が地上に出たころ—速効性の化成肥料、②花が終わったあとすぐ—速効性化成肥料でカリ分を多く含むもの、③生育中—液体肥料を7～10日おきに1回与えます。

病害虫

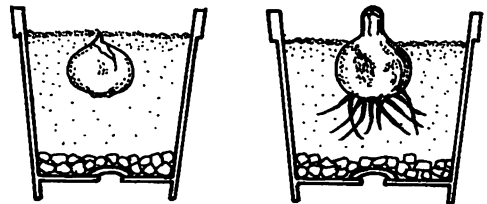
葉を大切に育てます。とくに花後は、球根肥大をはかるため、半月に1回、ダイセン水和剤やスミチオン乳剤を散布します。

浅く植える
チューリップ、ヒヤシンス
など

球根の一部を出して植える
アマリリス、ネリネなど

防寒

秋植え球根は、ワラや落葉を敷きます。耐寒性のないものは降霜までに室内に取り入れます。春植え球根で植えたままのものには、敷きワラか土寄せを厚め（20cm前後）にします。



鉢植への仕方

掘り上げ

葉が枯れたころ、晴天の日に掘り上げ、陰干して涼しいところで夏越しさせます。
○掘り上げない球根＝スイセン、スノードロップ、スノーフレイク、ユリ、シラーなど（2～3年植えたまま）

鉢植え

小型種や非耐寒性の球根は鉢植えにします。

球根直径の2～3倍以上の大きさの鉢に、腐葉土などを多めに混ぜた水はけのよい土で植えます。植え付けは、球根の先端が見えかくれする程度に浅くします。ただし、ユリはやや深く（覆土3～5cm）、アマリリス、シクラメン、ネリネなどは、球根の肩を出して植え付けます。

球根の育て方 2

主な種類と栽培

春植え球根

種 類	植付時期	開花期間	ポ イ ン ト
ダリア	3月下旬 ～4月下旬	6月下旬 ～11月下旬	春と初秋にせん定し、形を整える。夏には株もとにワラなどをしく（防乾、防暑）
グラジオラス	3月下旬 ～5月中旬	6月下旬 ～9月中旬	花茎が倒れやすいので支柱をたてる。植付けを期間内ですらせば、開花期間をのばすことができる
アマリリス	4月中旬 ～5月上旬	5月下旬 ～6月下旬	植付けのとき球根の頭が見える程度の浅植えとする。ウイルスに感染しやすいので、鉢植えの方が管理しやすい
カンナ	3月下旬 ～4月下旬	6月下旬 ～10月上旬	夏に土が乾き過ぎないようにする
ジンジャー	3月下旬 ～4月下旬	8月上旬 ～9月中旬	夏に株もとにワラなどをしく
スイレン	3月中旬 ～4月中旬	5月上旬 ～11月上旬	日あたりの良い池、水槽などに植える。水深は15～20cm程度でよい。元肥をしっかりと施しておく

秋植え球根

種 類	植付時期	開花期間	ポ イ ン ト
チューリップ	10月上旬 ～11月上旬	4月上旬 ～5月中旬	冬にワラなどをしき、乾燥し過ぎないようにする
スイセン	9月中旬 ～10月下旬	2月下旬 ～5月上旬	日本ズイセンは1月～2月に開花するがラッパズイセンなどは春咲きになる
クロッカス	9月中旬 ～10月中旬	秋咲き10月 春咲き3月	秋咲き、早春咲き種で冬に葉を出すものはワラなどで保護し、葉いたみを防ぐ
アネモネ	9月下旬 ～10月下旬	3月下旬 ～5月下旬	植付けるときに球根の上下を間違えないように注意する
コルチカム	8月下旬 ～10月中旬	9月下旬 ～10月中旬	花の咲いた後でも植付けられる
ユリ	9月下旬 ～10月中旬	5月 ～8月	上根が出るのでやや深植えにし、元肥を浅く施す。種類により開花期が異なる
ヒヤシンス ムスカリ シラー スノーフレーク	9月下旬 ～10月下旬	4月上旬 ～5月中旬	丈夫で作りやすく、3・4年は植えたままでよい